

国語

→ 中・高学年 | 「漢字の学習」

好きな漢字を選ぼう

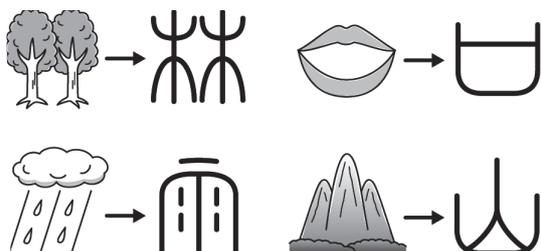
1. はじめに

漢字の学習といえば、学年別配当表にそって教科書を使って「読む」「書く」を中心に、どうしても受身的な授業になりがちである。

今回は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を盛り込んだ授業のアイデアを提案する。

2. <導入> 漢字の成り立ちクイズ

漢字の成り立ちを示す絵カードを使って、どんな漢字ができたのかを考える。



次に、ひらがな「あ」から始まる言葉をいくつかあげさせる。

教師「漢字とひらがなを比べてみると、ひらがなはいろんな言葉に使えるけれど、これひとつでは意味をもちません。でも、漢字にはひとつひとつに意味がありますね。これを考えた昔の人は偉いね」

ここでは、両者の比較により表意文字としての漢字に気づかせる。

3. <展開> 一番好きな漢字を選ぶ

教師「では、皆さんの一番好きな漢字を選んで書いてください。習った漢字でもいいし、自分の名前の漢字や、本で読んだ時に興味をもったものでもいいですよ」

「そして、意味が好きとか、形が好き、音が好き、

その漢字の思い出など、好きな理由も書いてください」

私の一番好きな漢字は



です。

どうして好きなのかというと、

(好きな理由は、)

(どうして選んだかというと、)



だからです。

清書として色紙大の紙に、中学年なら書道の太筆で書かせるとよいと思う。高学年なら、版画用のゴム板などで落款を作って押印すれば素敵な作品に仕上がるだろう。

4. <まとめ> 発表する

ひとりずつ作品を見せながら、好きな理由を発表する。結論を示してから理由を言うという発表の手順をふまえ、自分の言葉で「話す」練習をする。

時間があれば、聞き手の児童が発表者のよかったところを指摘してあげると自信にもつながると思う。

5. おわりに

この授業で楽しみながら学習することにより、漢字が好きになり、興味をもつきっかけになればと思う。

また、へんやつくりの意味を理解できれば、わからない漢字も意味を推測したり、主体的に調べたりするようになるのではないかな。

そして、漢字への興味を深めることで、読書に対する意欲・関心や、文章を書く力などにつなげていくことができればすばらしいのではないだろうか。